

7月号 ごあいさつ

## 第70回 全国植樹祭あいち2019

[大会理念] 私たちは、「木材の利用」を山村と都市をつなぐ架け橋とし、健全で活力のある「森林づくり」と「都市づくり」を進めていきます。

[大会テーマ] 木に託す もり・まち・人の あす・未来

株式会社 山西 あすなる会顧問  
代表取締役社長 西垣 洋一

6月2日(日)天皇、皇后両陛下をお迎えして、「木に託す もり・まち・人の あす・未来」をテーマに、第70回全国植樹祭あいち2019(主催=公益社団法人国土緑化推進機構、愛知県)が令和になって初めて、愛知県森林公園(尾張旭市・名古屋市守山区)をメイン会場に開催されました。私も愛知県木材組合連合会 会長の立場で、植樹祭ならびに前日の天皇、皇后両陛下の御臨席を賜りましたレセプションに参加させて頂きました。又レセプションでは、両陛下による木材業界に向けてのおことばを直接頂き、業界の現状をお伝えできるという大変な栄誉にあずかりました。

全国植樹祭は、国土の緑化運動の中心的な行事として昭和25年以来、天皇、皇后両陛下御臨席のもと、両陛下によるお手植えや参加者による記念植樹等を通じて、国民の森林に対する愛情を培うことを目的に毎年開催されています。第70回を迎えた全国植樹祭あいち2019においては、「木材利用」の促進による「森林づくり」と「都市づくり」を謳っており、「伐って、使って、植えて、育てる」循環型林業の展開を推進する業界にとっては、フォローの風が吹いています。同様に世界的な社会情勢においてもESG(Environment:環境、Social:社会、Governance:企業統治)や、2015年に国連サミットで採択されたSDGs(持続可能な開発目標)の達成の面から木材利用の促進は、時代の大きな命題となっています。

又、天皇陛下におかれましても「健全な森林は、木材をはじめとする林産物の供給のみならず、清らかな水、豊かな実りをもたらす大地や海を育み、さらには地球温暖化防止や生物多様性保存にも大切な役割を果たすなど、私たちに様々な恩恵をもたらしてくれる国民共通の財産といえます」、とされ、さらに「大会テーマである『木に託す もり・まち・人の あす・未来』にふさわしく、木材利用や健全な森林づくりの輪が、ここ愛知の地から全国へ、そして未来に向けて大きく広がっていくことを願います」とおことばを述べられました。(おことばの全文右掲載)

私は、木材利用の促進を図る森林・林業・木材産業の業界の人間として、陛下より繰り返し「木材利用」とのおことばを頂き、強い感慨を覚えるとともに、循環型社会の実現、都市の木造化・木質化、森林(もり)を生かす都市(まち)づくりに向け、身が引き締まる思いがしました。

木材需要の柱であった新設住宅の中長期的な減少が避けられない中、植樹祭の理念である健全な「森林づくり」と「都市づくり」の実現には、木材需要の新たな市場の創造が不可欠です。「健全な森を次世代のためにつくっていくことは、私たちに課せられた大切な使命である」との陛下のおことばを、しっかりと胸に刻み、私たちは、新市場の創造と木材利用の促進に取り組んでいかなければなりません。

2019年7月吉日

## 《 第70回全国植樹祭 天皇陛下のおことば 》



第70回全国植樹祭でおことばを述べられる天皇陛下と皇后様

第70回全国植樹祭に当たり、ここ「愛知県森林公園」において、全国から参加された皆様とご一緒に植樹を行うことを喜ばしく思います。

今こうして、初めて全国植樹祭に臨み、国土緑化の中心的行事として、70年にわたり開催されてきた歴史の重みと、国土緑化に長い年月をかけてこられた先人の努力に思いをはせ、感慨を覚えます。

わが国は、国土面積の3分の2を森林が占める世界有数の森林国です。健全な森林は、木材をはじめとする林産物の供給のみならず、清らかな水、豊かな実りをもたらす大地や海を育み、さらには地球温暖化防止や生物多様性保全にも大切な役割を果たすなど、私たちにさまざまな恩恵をもたらしてくれる国民共通の財産といえます。

こうした、森林のかけがえのなさを思うとき、その保全はもちろんのこと、森林を伐採して利用することに伴い、再び苗木を植えて育てることを通じ、健全な森を次世代のためにつくっていくことは、私たちに課せられた大切な使命であると考えます。

ここ愛知県においては、林業の活性化や都市部における木材の利用、さらには、山から街まで緑豊かな愛知の実現に向けた、森と緑づくりを進める取り組みがなされていると聞き、うれしく思います。

そして、本日表彰を受けられる方々をはじめ、日頃から各地域において森林や緑づくりに尽力されている全国の皆さんに敬意を表し、そうした活動が、多くの人々によって支えられ、さらに発展していくことを期待します。

このたびの大会テーマである「木に託す もり・まち・人の あす・未来」にふさわしく、木材の利用や健全な森林づくりの輪が、ここ愛知の地から全国へ、そして未来に向けて大きく広がっていくことを願い、私のあいさつといたします。